

「デザイン思考」プログラム ー福岡の「〇〇」の未来をデザインするー (九州大学芸術工学研究院、九州大学/ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター (QREC) 連携講義)

担当：芸術工学研究院デザインストラテジー専攻 准教授 平井康之 連絡先：hirai@design.kyushu-u.ac.jp
産学連携センター教授 谷川徹 連絡先：tanigawa@qrec.kyushu-u.ac.jp
問合せ：QREC プログラムマネージャー 山田裕美 連絡先：yamada@qrec.kyushu-u.ac.jp
住所：福岡県福岡市東区箱崎 6-10-1 産学連携棟 | TEL:092-642-4013 FAX:092-642-4015

◆ 概要

イノベーションを生み出す「デザイン思考」を学び体験する教育プログラム(正規授業)で、2013 年度より開講。デザイン思考を生み出した世界的なデザイン事務所アイデオ(以下「IDEO」)東京オフィスメンバー3 人を招き、九州大学の全学から募集した 40 人の多様なバックグラウンドの学生を対象に、九大芸工院と QREC の連携講義として 4 日間のワークショップを実施しました。デザイン思考はイノベーションを生み出す手法として世界的に注目されており、2013 年 6 月発行の科学技術白書においても紹介されており、またスタンフォード大学(米国)や東京大学等においても教育プログラムとして取り入れられています。

◆ 背景

アントレプレナーシップ教育に於いては、何をすべきかの“気づき”やチャレンジしようとする“モチベーション”の醸成が重要ですが、「デザイン思考」は、課題発見、新しいアイデアの創出、価値創造へチャレンジ(行動)等といった、アントレプレナーシップの重要な要素を学ぶ手法として最適のものです。現在社会においてビジネスをすすめることは、環境問題や少子高齢化など世界が直面する社会的課題とは切り離せない状況となっています。デザイン思考は、これまでのような技術的な課題解決ではなく、ビジネス(Viability)、人間(Desirability)、技術(Feasibility)の3つを統合的に見ていくことで、そのような社会的課題を発見し価値を創造するイノベーションアプローチに特徴があります。このような背景により、九州大学からイノベーション人材を育成する目的で、デザインを専門とする芸術工学研究院とアントレプレナーシップ教育を専門とする QREC が共同で教育プログラムを開始しました。

◆ 内容

2013 年度は、2013 年 9 月に IDEO、QREC、芸術工学研究院のスタッフの指導の下、全学から選抜された 40 人の学生が 5 チームに分かれ、「福岡の「〇〇」の未来をデザインする-Designing the Future of Fukuoka」をテーマに 4 日間のワークショップを行いました。対象となるユーザー調査(観察)からはじまり、グループ内でのブレインストーミング、プロトタイプづくり、そして最終日には成果のプレゼンテーションを行いました。

< 授業日程 > 場所: 九州大学 大橋サテライト

9月17日(火)10:00-17:00 / 9月24日(火)-26日(木)9:00-18:00

< 授業シラバス >

全学教育科目(総合科目) <http://syllabus.kyushu-u.ac.jp/search/preview.php?code=1390509510>

大学院共通教育科目 <http://syllabus.kyushu-u.ac.jp/search/preview.php?code=1390681007>

◆ 効果

本プログラムの主な目的は、世界で活躍できるイノベーション人材の育成にあります。そのため、授業は英語を中心に行われました。学生たちは、ファシリテーション、ラピッドプロトタイピング、チームワーク、アイデア発想手法を学ぶことで、専攻、コースを越えたプロジェクト遂行に必要な基本的なスキルを身につけることができました。このプロセスは、一般社会人にとっても必要なスキルです。本プログラムは単なる一授業ではなく、福岡の社会活動、経済活動に影響を与える内容を持っています。

◆ 今後の展開

IDEO、フィンランド Aalto 大学、英国王立芸術大学院など、国内外のデザイン思考やイノベーション教育を行っている大学や組織と共同でプログラム開発を進めていきます。また将来に向け、企業や NPO などの社会組織とも連携し、イノベーション人材育成や新事業開発などの手法開発普及に努めていきたいと思っております。

デザイン・シンキング

IDEO Tokyo + 九州大学 / イノベーションワークショップ

デザイン思考を学び、
起業家精神を育む。



- 2013年9月24日, 25日, 26日
- 九州大学 大橋サテライト
- 全学の学部生および大学院生 計40名
- ファシリテーター: IDEO Tokyo 4名



ENTREPRENEURSHIP / DESIGN

アントレプレナーシップ教育を専門とする QREC とデザインを専門とする芸術工学院が共同で開始した九州大学独自のイノベーション人材育成プログラム。

デザイン思考を取り入れた
イノベーションワークショップを
IDEO Tokyo と共に九州で初開催

世界で活躍できるイノベーション人材の育成を目指し、イノベーションを生み出す手法として注目されている「デザイン思考」を教育プログラムに取り入れました。

福岡の「100」の未来を
デザインする

テーマ: インフラ / 食 / おもてなし / 自然 / エンタメ

40名の学生が5チームに分かれ、各テーマのもとユーザー調査からプレゼンテーションまで一連の流れを体験しました。



IDEO

アメリカ合衆国カリフォルニア州に本拠を構えるデザインコンサルティング会社。今回は東京オフィスから4名をファシリテーターとして招きました。

DESIGN THINKING PROCESS



テーマごと、商業施設や駅、公園などへ訪れ、自分たちが実際に感じたことや生活者との対話から「気づき」を収集。



リサーチ結果をチームで共有。ビジュアル資料も用いながら、課題の関係を俯瞰して整理しました。



ルールに基づきながら無数のアイデアを发散し、フォーマットで補いながらコンセプトを固めていきました。



アイデアをプロトタイプで表現します。レゴや段ボールを使って試しながら考え、物語を組立てていきました。

OUTPUT

多様性が生む「福岡の未来」

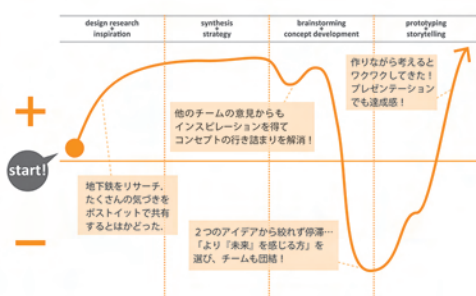
学生たちの様々な専門性に加え、留学生や社会人経験者を交えた多様なメンバーがアイデアを出合うことで、朝舞台のサービスや、都心で遊べる総合アウトドアレジャービルなど、ユニークなデザインが生まれました。



劇を交えてアイデアを表現

チームのアイデアを原寸サイズのプロトタイプで表現し、劇を交えてプレゼンテーションしました。

重松さんの感情変化



重松 藍 (工学部3年)

「多様な意見や立場の違いからくる行き詰まりもありましたが、一歩ひいて課題を考えることで自分の視野も広がり、ブレークスルーの経験ができました。」

